



左：第一洋食店の100年と苫小牧



右：とまこまい考古コレクション「縄文からトーチカまで」  
柏原16遺跡出土朱塗り壺 〔縄文時代晩期〕当館蔵



左：植物細事記―身近な木々の一年を辿る―  
孫田敏〈ハスカップ 花、果実〉2019年 作家蔵



右：NITTAN ART FILE 3：内なる旅～モノに宿された“記憶”（仮称）  
山田啓貴〈心舞う灯り〉2016年 作家蔵



左：浅野武彦の木版画の世界  
浅野武彦〈健陀多(カンダタ)〉1975年 当館蔵



右：大正・昭和の鳥瞰図と空から見た昭和30年代の苫小牧  
吉田初三郎〈苫小牧市鳥瞰図〉1950年 当館蔵

〒053-0011 苫小牧市末広町3丁目9番7号  
Tel 0144-35-2550 Fax 0144-34-0408  
www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/  
f www.facebook.com/tomakomai.museum

【開館時間】  
9:30-17:00(入館は16:30まで)

【夜間開館】  
7/27、10/5(20:00まで開館/入館は19:30まで)  
※日程の追加/変更の場合があります。詳細は直接お問い合わせいただくか、  
公式HPまたはフェイスブック等でご確認ください。

【休館日】  
毎週月曜日(祝日の場合開館、翌火曜日休館)  
年末年始(12/29～1/3)

【観覧料】  
一般 300円(240円)  
高校生・大学生 200円(140円)  
中学生以下 無料  
※( )内は10名以上の団体料金  
※観覧料の免除規定がありますのでご相談ください。  
※年間観覧券(一般900円/高校生600円)もあります。  
※特別展の観覧料はその都度定めます。

【無料観覧日】  
5/5、11/3

【アクセス】  
道南バス・中央バス  
「出光カルチャーパーク」下車徒歩約5分

JR苫小牧駅南口から車で約5分  
※出光カルチャーパーク内の南側駐車場をご利用ください。



●線路線は架け替え工事に伴い通行止めとなっております。  
国道276号をご利用の方はご注意ください。(2019年末に開通予定)

# 苫小牧市美術博物館 展覧会スケジュール

2019.4 ▶▶▶  
▶▶▶ 2020.3

Tomakomai City Museum

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
第1展示室		企画展 4/27(土)～6/23(日)		特別展 7/13(土)～9/16(月・祝)			企画展 10/5(土)～11/24(日)		企画展 12/7(土)～1/19(日)		企画展 2/8(土)～3/29(日)	
第2展示室		とまこまい考古コレクション —縄文からトーチカまで—		第一洋食店の100年と苫小牧			NITTAN ART FILE 3 : 内なる旅 ～モノに宿された“記憶” (仮称)		浅野武彦の木版画の世界		大正・昭和の鳥瞰図と 空から見た昭和30年代の苫小牧	
第3展示室		特集展示 4/27(土)～6/23(日) 植物細事記 —身近な木々の一年を辿る—							収蔵品展 12/7(土)～1/19(日) 美術収蔵品展(仮称)		特集展示 2/8(土)～3/29(日) 映像展示(仮称)	
中庭展示 スペース		中庭展示 4/27(土)～9/16(月・祝) Vol.12 半谷学					中庭展示 10/5(土)～11/24(日) Vol.13 坂東史樹					

※ 内容及びスケジュールに関しては予告なく変更をすることがございます。ご了承ください。

#### 特別展

##### 第一洋食店の100年と苫小牧

7月13日(土)～9月16日(月・祝)

1919(大正8)年創業の老舗レストラン第一洋食店は、王子製紙苫小牧工場創業を嚆矢とする苫小牧の近代化と歩みを共にし、まちを訪れる多くの美術家・文学者・音楽家たちが集う苫小牧の文化サロンとしての役割も果たしてきました。本展では、第一洋食店が担ってきた苫小牧の文化装置としてのあり様を検証し、近代苫小牧の街と人、そしてそこに生まれた文化を紹介いたします。

#### 収蔵品展

##### 美術収蔵品展(仮称)

12月7日(土)～1月19日(日)

収蔵品展「苫小牧市美術博物館所蔵名品選」(2018)を機に実施した「あなたが選ぶこの1点」の上位にランキングした選りすぐりの作品を紹介いたします。

#### 特集展示

##### 植物細事記—身近な木々の一年を辿る—

4月27日(土)～6月23日(日)

スキヤングラフナー・孫田敏(1954-)の植物細密スキヤン画像で苫小牧の身近な植物をクローズアップします。

##### 映像展示(仮称)

2月8日(土)～3月29日(日)

企画展「大正・昭和の鳥瞰図と空から見た昭和30年代の苫小牧」に関連した映像資料と作品によるコラボレーション展示

#### 企画展

##### とまこまい考古コレクション

—縄文からトーチカまで—

4月27日(土)～6月23日(日)

苫小牧市埋蔵文化財調査センターを中心にこれまで苫小牧市内で行われてきた発掘調査によって出土した資料を紹介いたします。

##### NITTAN ART FILE 3 :

内なる旅～モノに宿された“記憶”(仮称)

10月5日(土)～11月24日(日)

胆振・日高地方ゆかりの現代美術を紹介する展覧会シリーズの第3回目となる本展は、モノとの出会いを「内なる旅」として捉え、そこに宿された記憶や思念、心象など、現代作家ならではの切り口により生み出される作品世界にふれる機会とします。

##### 浅野武彦の木版画の世界

12月7日(土)～1月19日(日)

北海道大学医学部在学時に、白老に疎開していた川上澄生に師事し、後に北海道版画協会の創立メンバーとして活躍した浅野武彦(1927-2016)の版画作品約100点をテーマごとに紹介します。

##### 大正・昭和の鳥瞰図と空から見た昭和30年代の苫小牧

2月8日(土)～3月29日(日)

大正から昭和初期にかけての旅行ブームを機に制作された、吉田初三郎(1884-1955)や金子常光などの鳥瞰図とともに、志方写真館が撮影した昭和30年代の苫小牧市街地の空撮写真を展示公開します。

#### 中庭展示

##### Vol.12 半谷学

4月27日(土)～9月16日(月・祝)

廃材などを主要な素材として、植物をはじめ自然物をモチーフとする立体作品を制作している半谷学(1963-)によるインスタレーション

##### Vol.13 坂東史樹

10月5日(土)～11月24日(日)

自身の夢や心象など、意識下に潜在するイメージを可視化している坂東史樹(1963-)によるインスタレーション(企画展「NITTAN ART FILE 3」連動展示)



左：半谷学《さしがさばな》2018年 作家蔵  
右：坂東史樹《創世記—中庭に巨大な爬虫類の住む集合住宅で》2018年 作家蔵  
※いずれも参考作品